5.3.3 2004 年秋季 (10月) 分析結果

2004 年秋季(10月)分析は、DPAA および PAA を行った。結果は、以下の表および図としてまとめた。なお、値はすべてヒ素換算値とした。

- 表 5.3.7 2004 年秋季 (10月)地下水分析結果一覧
- 図 5.3.14 2004 年秋季 (10 月) AB トラック地下水 DPAA 汚染状況図
- 図 5.3.15 2004 年秋季 (10 月) A 井戸周辺地下水 DPAA 汚染状況図
- 図 5.3.16 2004 年秋季 (10 月) B 地区地下水 DPAA 汚染状況図
- 図 5.3.17 2004 年秋季 (10 月) AB トラック地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 10 m)
- 図 5.3.18 2004 年秋季 (10 月) AB トラック地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 20m)
- 図 5.3.19 2004 年秋季 (10 月) AB トラック地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 30m)
- 図 5.3.20 2004 年秋季 (10 月) A 井戸周辺地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 10 m)
- 図 5.3.21 2004 年秋季 (10 月) A 井戸周辺地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 20m)
- 図 5.3.22 2004 年秋季 (10 月) A 井戸周辺地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 30m)
- 図 5.3.23 2004 年秋季 (10 月) B 地区地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 10 m)
- 図 5.3.24 2004 年秋季 (10 月) B 地区地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 20 m)
- 図 5.3.25 2004 年秋季 (10 月) B 地区地下水 DPAA・PAA 汚染状況図 (深度 30 m)

2004年秋季の採水は、10月25日~11月1日に行った。ただし、この採水は10月11日に降った多雨後のものである 1)。

また、A井戸南東90m(掘削調査地点)で行われた掘削調査の関係で、A井戸南東90m(掘削調査地点) 周辺とA井戸南側のグランド付近の採水は不能となった。

1)神栖町では10月11日に300mm/dayを越える雨が降っており、その後も断続的に雨が続いたことから、地下水位は急激に上昇しており、地下水位分布もこれまでとは異なる傾向となった(詳細は、後述の4.3)。

1) A井戸周辺部

A井戸直近では、南西部分のNo39でこれまで同様高濃度のジフェニルアルシン酸が検出されているものの(深度30mで15.9ppm)、南東部分のほとんど(NO.7,8,13,34,37,70,72,73,89,160)で急激な濃度の低下がみられた(10ppmを越えるものはなくなった)。

また、A井戸南のグランド北西角では、前回高濃度が確認されたNo27 (深度20mで3.1ppm、30mで5.7ppm)に加えて、No155の深度10mで5.5ppm、20mで7.1ppm、30mで9.7ppmが確認された。

2) B地区

8月の測定でこれまでB地区最大の2.6pmmを検出したB地区南西のNo66孔の汚染が、全く見られなくなった。

また、全体にジフェニルアルシン酸濃度が薄くなるとともに、再びB地区を中心とした汚染分布に変化した。最大はNo54孔の深度30mの0.34ppm。

3) AB間

8月の測定で、A井戸に近い3カ所(No56、177、181)で認められていた1ppm程度の汚染が全く見られなくなり、その他の箇所についても、ほとんどの箇所で汚染が見られなくなった。

4) ABトラック外周

17孔すべてのモニタリング孔で、ジフェニルアルシン酸は検出されなかった。

5) DPAA、PAA 分布

DPAA と PAA を比較すると、特に AB 間の観測孔で DPAA が検出されないにも関わらず、PAA が検出される箇所が多い。PAA の最高濃度は、AB 間に位置する No56 孔の深度 30mの 0.38ppm であった。

8 月期と 10 月期において、特に AB 間の DPAA 分布状況が変化したのは、前述したように、採水約 2 週間前に降った多雨の影響がでているものと考えられる。

これについて、AB 間の地下水流動方向は、これまで相対的に A 井戸から B 地区方面に流れていたものが、この多雨以降 AB 間中央部を尾根に A 井戸側では南東に、B 地区側では南西に変わったためと考えられる。

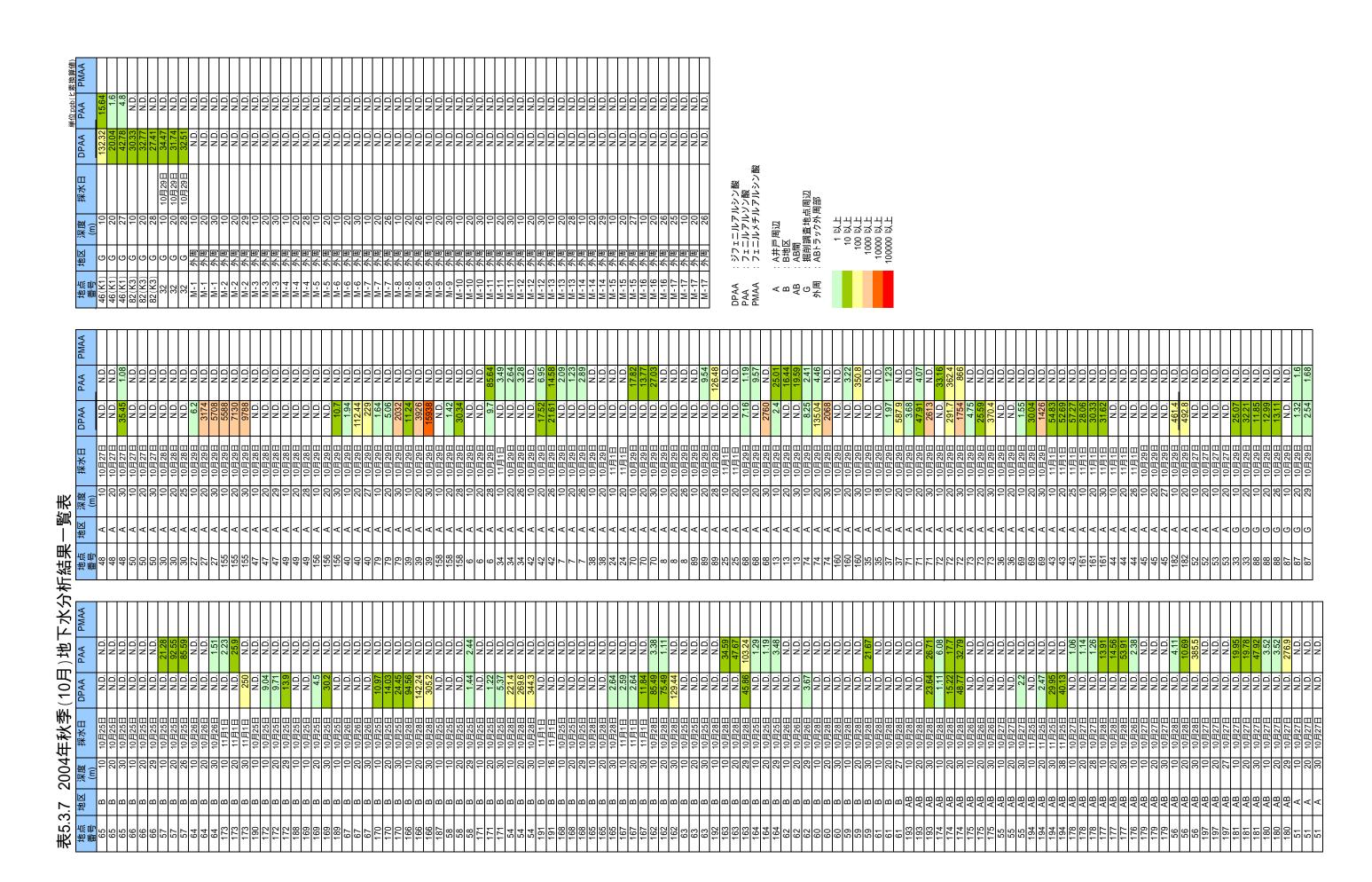
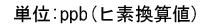
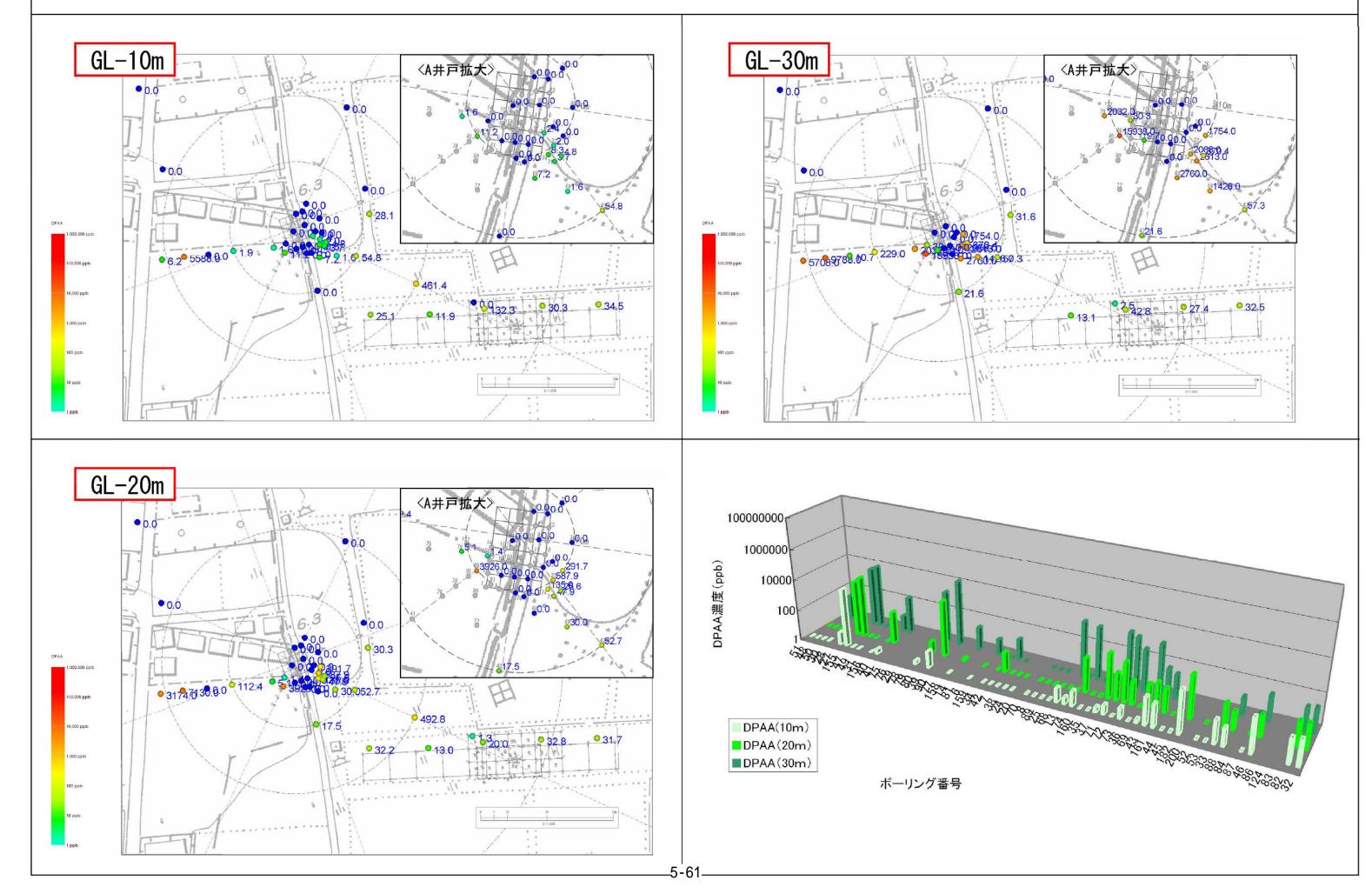


図5.3.14 2004年秋季(10月)ABトラック地下水DPAA汚染状況図 単位:ppb(ヒ素換算値) GL-10mGL-30m.0.0 **0.0 0.0** ●0.0 **9**0.0 .0.0 .0.0 .0.0 .0.0 ●0.0 •0.0 .0.0 **0.0** .0.0 .0.0 •0.0 • 0.0 ● 0.0 ● 0.0 1,000 ppb • 0.0 • 0.0 • 0.0 • 0.0 ●0.0 ●0.0 • 0.0 **0.0** • 0.0 GL-20m .0.0 .00 • 0.0 100000000 .0.0 .0.0 • 0.0 DPAA濃度(ppb) • 0.0 1000000 • O O ₽0.0 DPAA(10m) • 0.0 DPAA(20m) • 0.0 • 0.0 ボーリング番号 ■DPAA(30m)

5-60

図5.3.15 2004年秋季(10月)A井戸周辺地下水DPAA汚染状況図





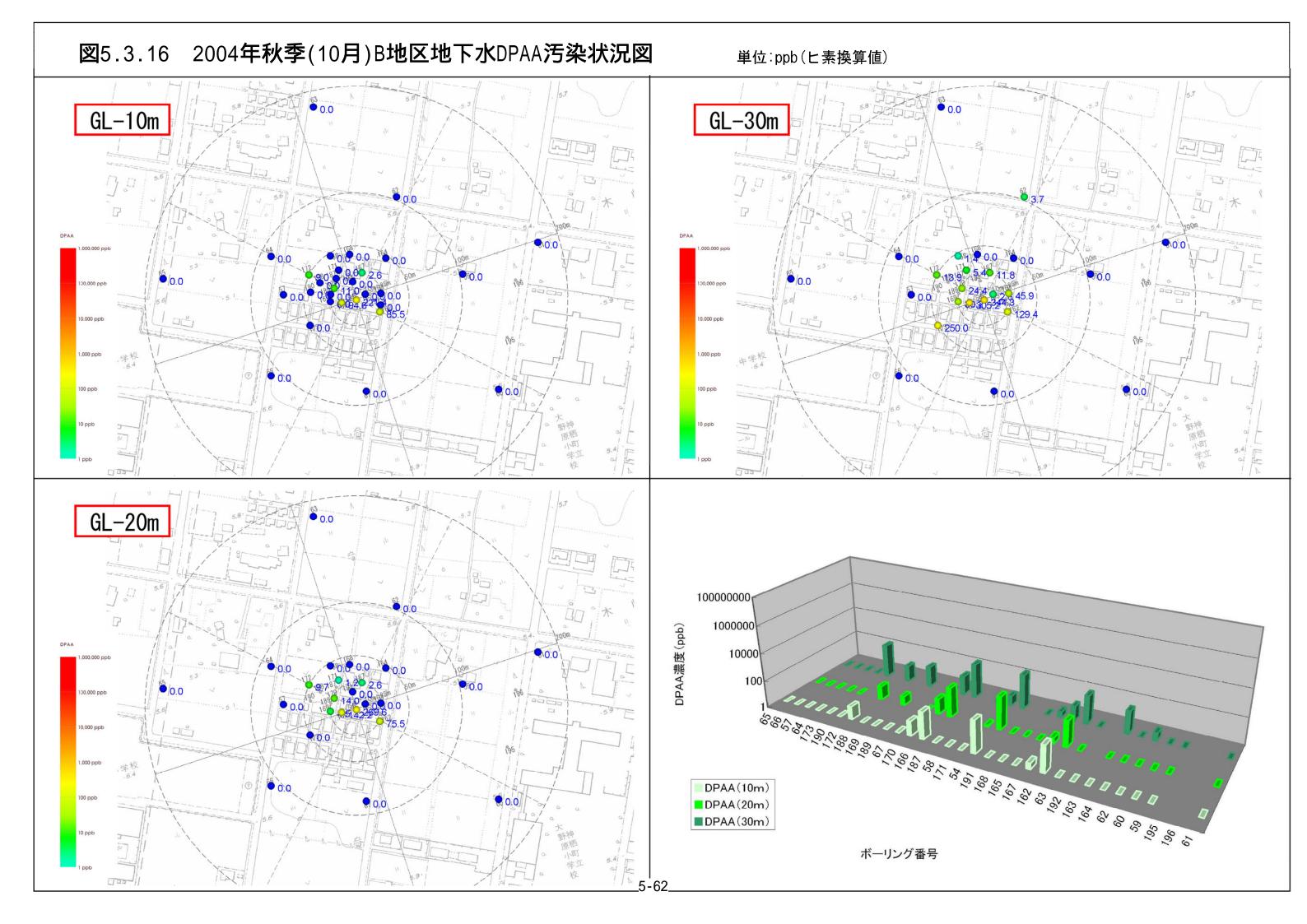


図5.3.17 2004年秋季(10月) ABトラック地下水DPAA・PAA汚染状況図(深度10m) _{単位:ppb(ヒ素換算値)}

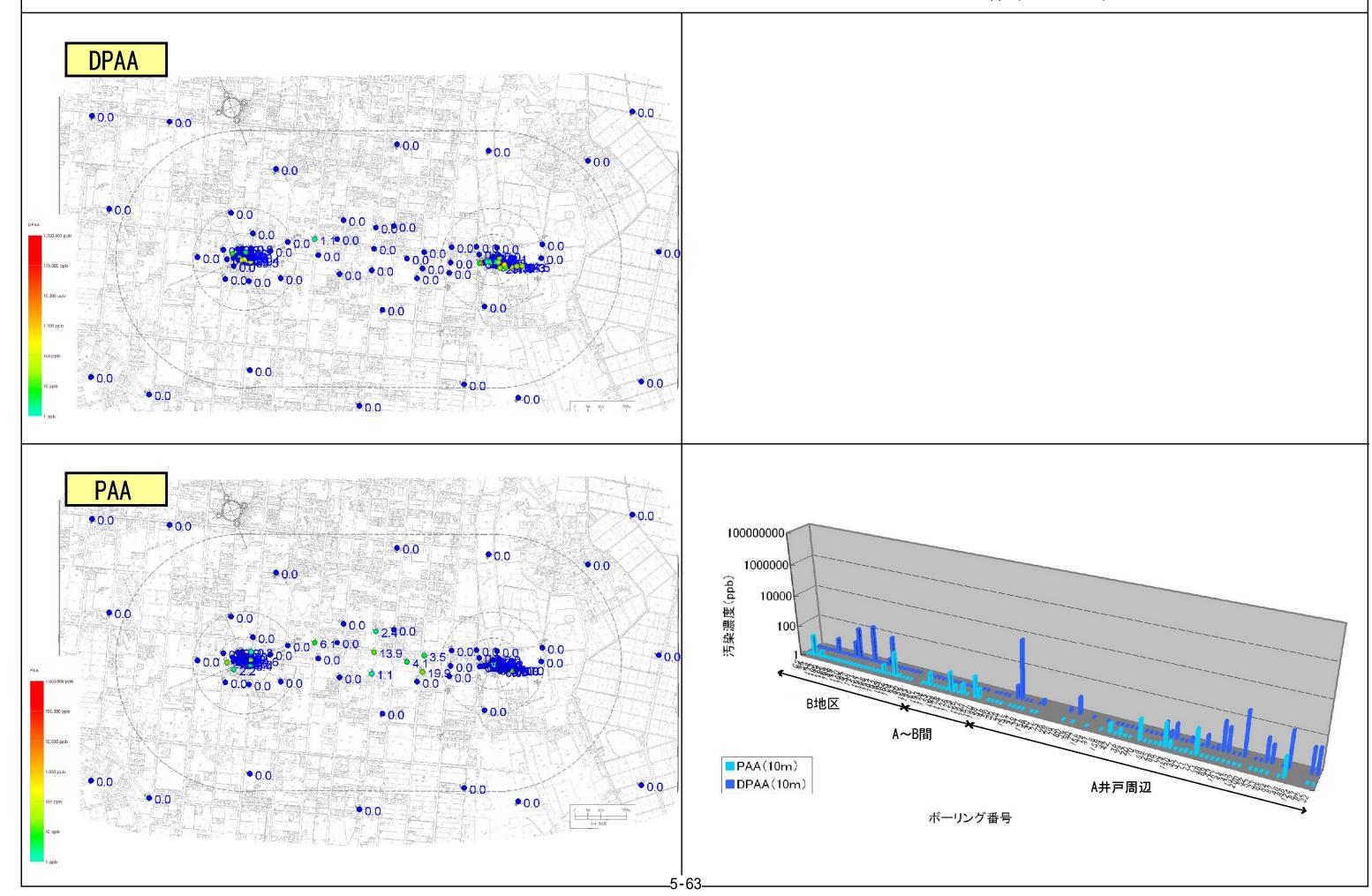


図5.3.18 2004年秋季(10月) ABトラック地下水DPAA・PAA汚染状況図(深度20m) _{単位:ppb(ヒ素換算値)}

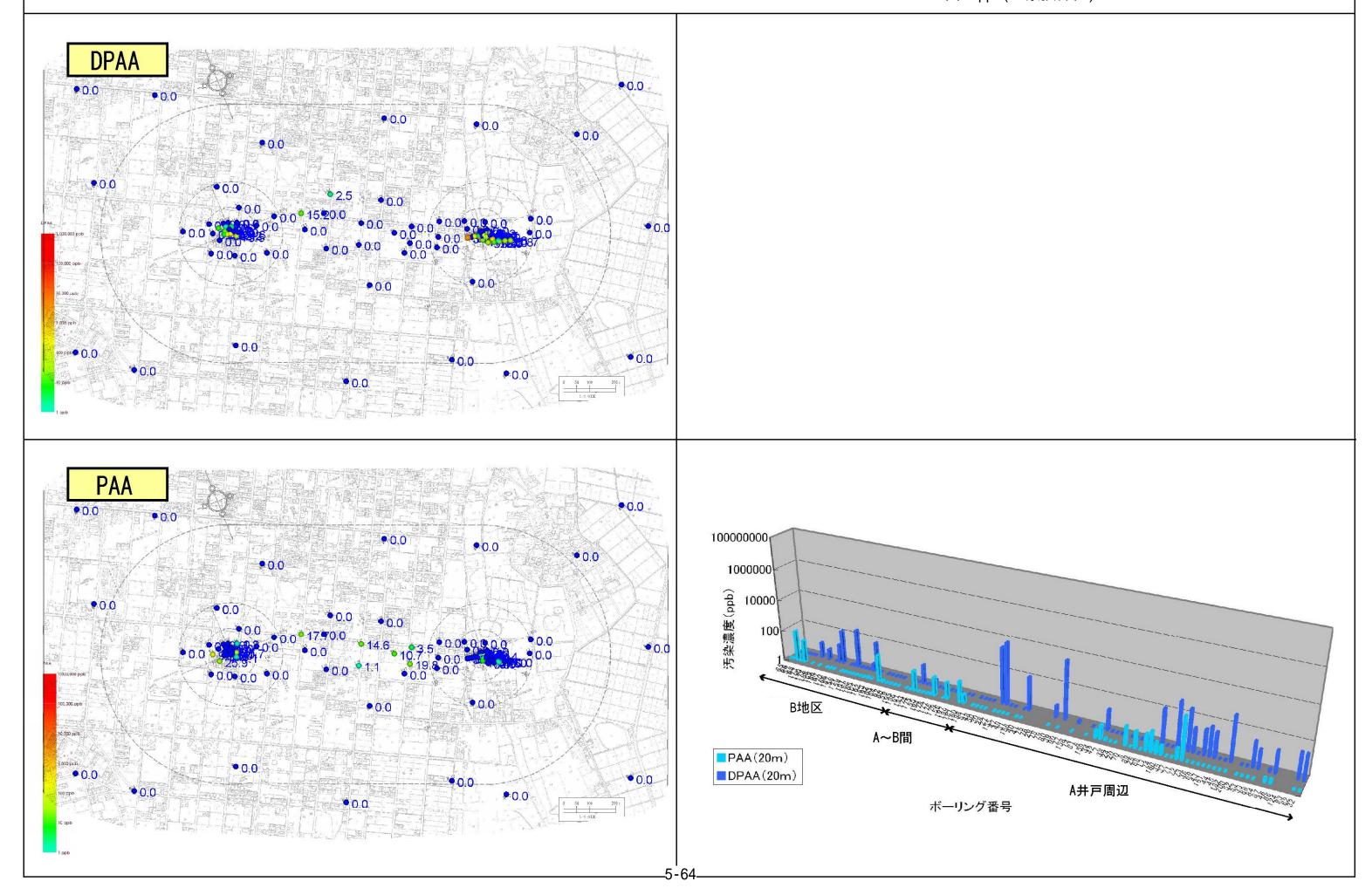


図5.3.19 2004年秋季(10月)ABトラック地下水DPAA・PAA汚染状況図(深度30m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

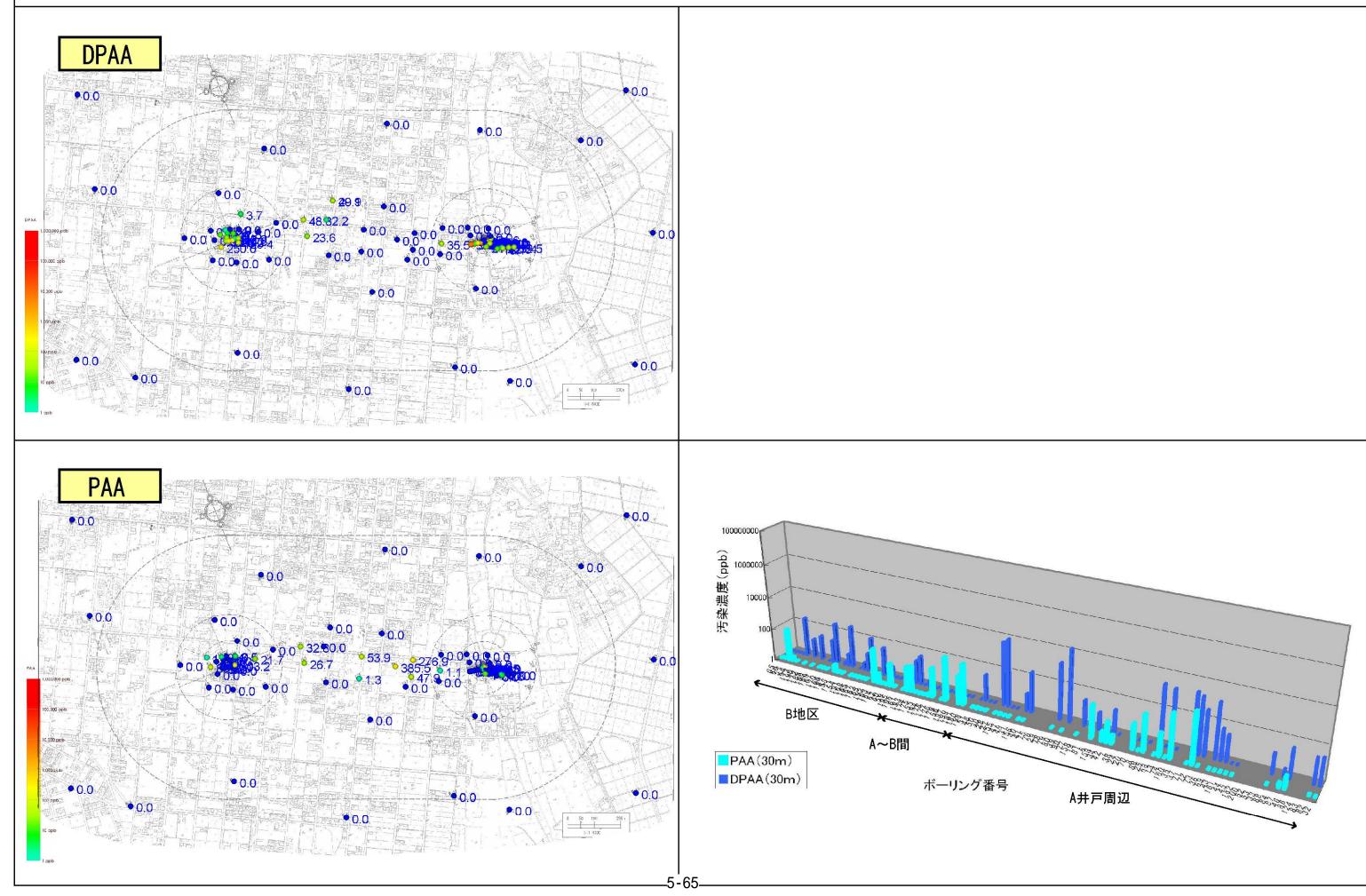


図5.3.20 2004年秋季(10月)A井戸周辺地下水DPAA · PAA地下水汚染状況図(深度10m) 单位:ppb(ヒ素換算值)

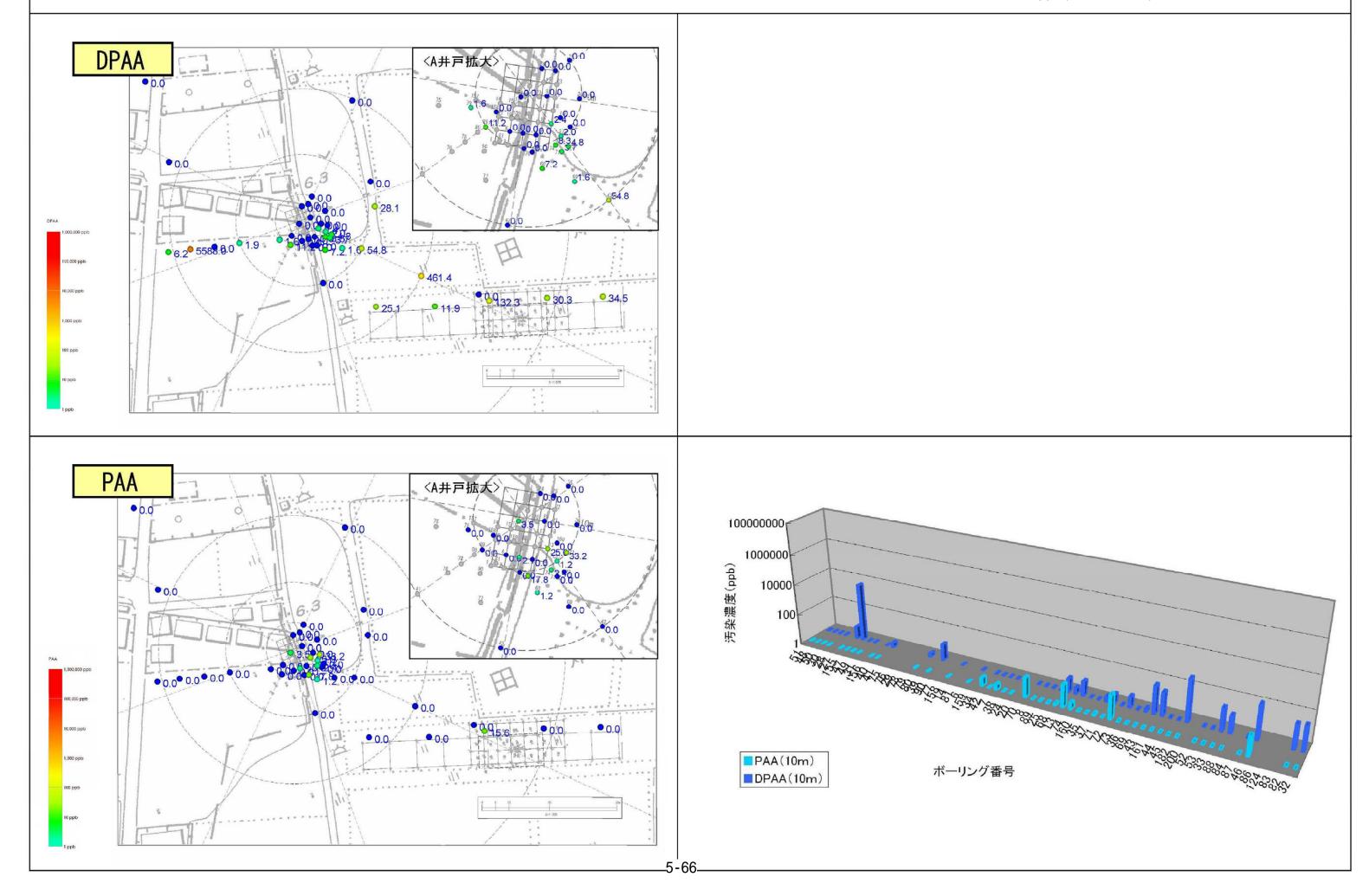


図5.3.21 2004年秋季(10月)A井戸周辺地下水DPAA · PAA地下水汚染状況図(深度20m) 単位:ppb(ヒ素換算值)

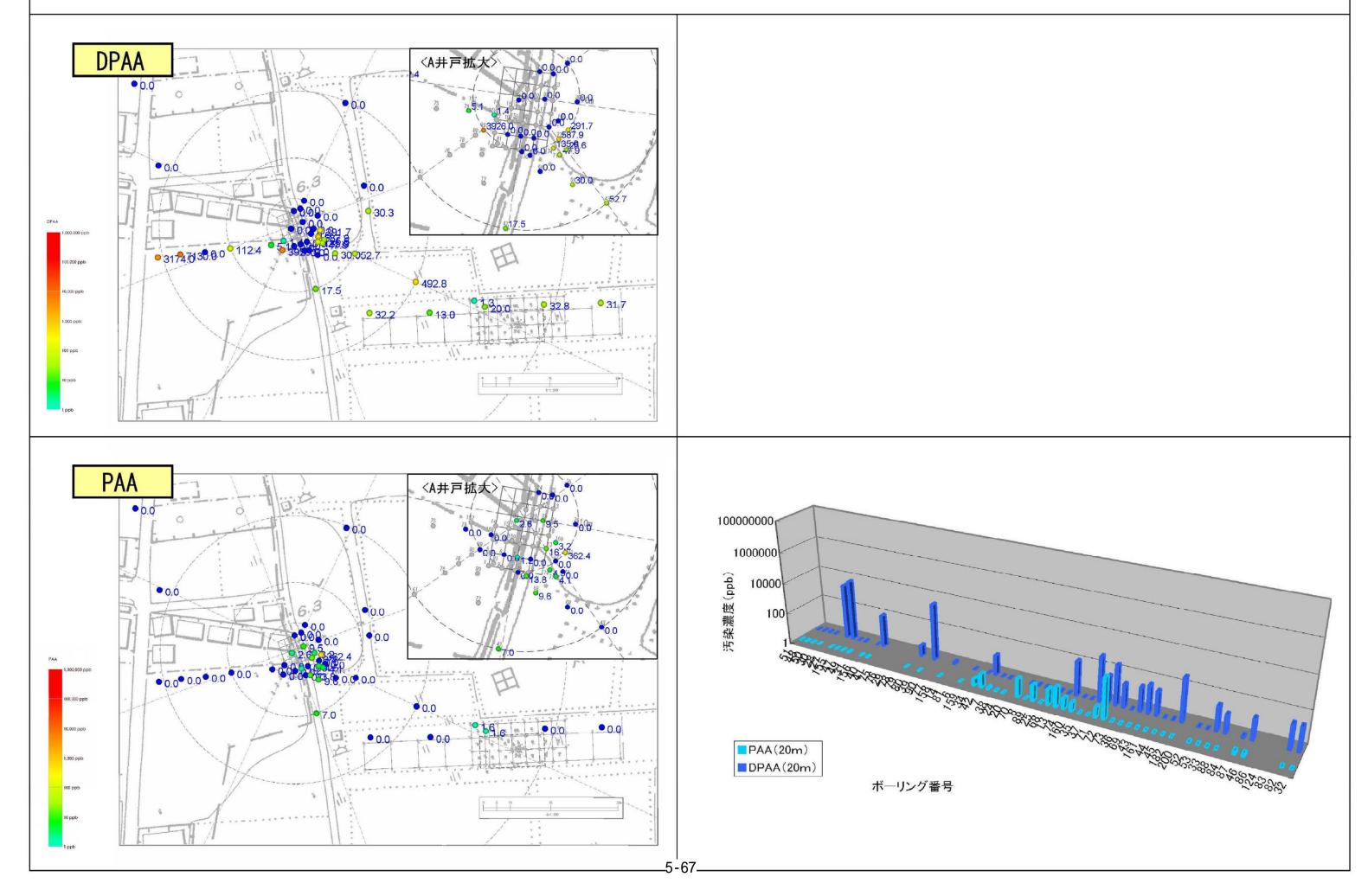


図5.3.22 2004年秋季(10月)A井戸周辺地下水DPAA・PAA地下水汚染状況図(深度30m) _{単位:ppb(ヒ素換算値)}

